

目指すのは創造的復興

愛知、三重、岐阜各県などの熊本県出身者らでつくる東海熊本県人会の総会と懇親会が十四日、名古屋・栄の中日パレスであり、会員ら百九十人が出席した。昨年四月の熊本地震から一年一かな復興を目指す▽復旧・月。来賓の蒲島郁夫熊本県知事が「熊本地震からの創造的復興」と題して講演した。

蒲島知事は復興に臨む姿勢として、被災者の痛

東海県人会で熊本知事講演

備を進めていることを話した。

蒲島知事は被災した県民の思いを「当たり前のように蛇口からお湯が出たり、電気を使える生活のありがたさと、それを取り戻す難しさをかみかめて」と代弁。全国からの支援に感謝した。

総会冒頭で、参加者は黙とうをささげた。県人会の鬼木徹也会長(七セ)は「被災地ではまだ仮設住宅などで暮らす人が四万数千人に上り、復興は道半ばだ」とあいさつ。募金など支援活動への協力を求めた。

(河原広明)



熊本地震からの復興状況などについて話す蒲島熊本県知事＝名古屋・栄の中日パレスで